

第 4 次ちば中小企業元気戦略

令和元年度補助指標の達成状況 及び令和 2 年度事業計画書

千葉県

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(1) 起業・創業への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A チャレンジ企業支援センターにおける起業・創業相談件数	目標値			306件	357件	369件
	実績値	240件	373件	430件	282件	
B 起業家応援イベント参加者数	目標値			2,500人	2,500人	2,500人
	実績値	2,000人	2,500人	2,200人	2,500人	
C 創業支援事業計画の認定市町村数	目標値			43市町村	47市町村	47市町村
	実績値	35市町村	39市町村	41市町村	43市町村	

（課題と今後の対応）【R元→R2】

A) チャレンジ企業支援センターにおいても、引き続き、「ちば起業家応援事業」と連携を図るとともに、地域の市町村、経済団体等との密接な連携による広報の強化により、起業・創業希望者へ支援制度の認知度向上を図っていく必要がある。起業家に対してチャレンジ企業支援センターの「窓口相談」等の創業支援制度に関する積極的な活用を促し、地域における起業・創業を支援する。

B) 起業家交流会の開催にあたり、単独で実施主体となることが困難な人口や起業家が少ない地域にも効果が波及できるような取組が必要である。起業家交流会の開催に意欲のある地域を中心に、複数の市町村を対象とした広域での開催をすることで近隣市町村へも効果が波及するよう努める。

C) 起業家交流会の開催に意欲のある地域を中心に、複数の市町村を対象とした広域での開催をすることで近隣市町村へも効果が波及するよう努める。創業支援の主体は市町村であることから、市町村への起業家交流会等のノウハウの浸透などにより県内各地域での起業機運を醸成するとともに、全市町村における創業支援事業計画の策定を目指す。

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<チャレンジ企業支援センター事業> 中小企業支援法に基づき、（公財）千葉県産業振興センターが実施する、県内中小企業者が抱える様々な経営課題（経営・金融・技術・IT相談等）の解決を「ワンストップ」で支援するための、各種相談事業や専門家派遣事業及び各種セミナーの開催事業等に対し補助する。	334,662千円	336,828千円
		330,212千円	
2	<ちば起業家応援事業> 「起業・創業」及び起業の一手法としての「事業承継」の機運醸成・啓発から、優秀な起業家及び事業後継者の発掘、起業及び事業承継を実現するためのビジネスプランのブラッシュアップまで、一貫した支援を継続的に行うことにより、県内での起業及び円滑な事業承継を促進する。	16,700千円	16,000千円
		16,700千円	

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(2) 事業の持続的発展への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	県制度融資（小規模事業資金・小口零細企業保証枠）の融資限度額	目標値	/	/	2,000万円	2,000万円	2,000万円
		実績値	1,250万円	1,250万円	2,000万円	2,000万円	/
B	千葉のちから「中小企業表彰」における小規模企業表彰数	目標値	/	/	3社	3社	3社
		実績値	1社	3社	4社	2社	/
<p>（課題と今後の対応）【R元→R2】</p> <p>A)多くの中小企業者に利用していただくため、より利用しやすい制度の見直しと周知を図っていく。</p> <p>B)推薦団体において、特に該当する小規模企業の発掘が必要。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額
		決算額		決算額	
1	<p><中小企業振興資金（小規模事業資金の融資枠の拡大）></p> <p>県内の小規模事業者に対し通常の融資より低利で借りられる融資を行う。</p> <p>なお、中小企業信用保険法等の改正に伴い、平成30年度より小規模事業資金（小口零細企業保証枠）の融資限度額を2,000万円に引き上げた。</p>	190,000,000千円		190,000,000千円	
		126,400,000千円		/	/
2	<p><千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」></p> <p>積極的な事業展開による地域経済への貢献や地域活動への取組などを行う中小企業や地道に努力を重ねてきた従業員等に対し、千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」（中小企業・商店街・従業員）を行う。</p>	119千円		119千円	
		95千円		/	/

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(3) 伴走型支援体制の強化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	商工会・商工会議所における相談件数	目標値	/	/	115,200件	110,000件	110,000件
		実績値	115,265件	113,864件	110,646件	115,572件	/
B	よろず支援拠点における相談件数【再掲】	目標値	/	/	6,000件	6,000件	6,800件
		実績値	4,894件	6,521件	6,786件	7,282件	/
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)小規模事業者支援法の改正により、商工会・商工会議所と市町村及び都道府県との連携強化など、小規模事業者に寄り添った伴走型支援が求められている。</p> <p>B)チャレンジ企業支援センター等との連携をより一層推進します。チャレンジ企業支援センター等との連携をより一層推進します。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><小規模事業経営支援事業費等補助金></p> <p>○商工会、商工会議所において、「経営発達支援計画」を策定し、従来の税務、経理などの相談に加え、技術の向上、新たな事業開拓等に係る事業計画の策定・実施を企業に寄り添って支援する伴走型支援を行う。</p> <p>なお、令和2年度は「経営発達支援計画」等の策定支援として、策定にかかる会議費・旅費等に対し補助を行う。</p>	2,274,219千円	2,283,617千円 うち計画策定費として、7,320千円
		2,182,258千円	/
2	<p><よろず支援拠点による総合支援>【再掲】</p> <p>中小企業者・小規模事業者の複雑・多様化する経営課題に対して、総合的・先進的のアドバイスを行い、売上拡大や経営改善を支援する。</p>	予算なし	予算なし
		-	/

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(4) 円滑な事業承継の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A 事業承継ネットワーク構築事業におけるアンケート件数	目標値	/	/	1,700件	1,700件	5,534件
	実績値	-	4,827件	3,543件	5805件	/
B 千葉県事業引継ぎ支援センターによる相談件数	目標値	/	/	200件	236件	294件
	実績値	191件	282件	307件	319件	/
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)金融機関の協力により、大幅な実施件数増加を達成した。 今後も引き続き商工団体、金融機関、千葉県信用保証協会などと連携の上実施していく。 B)相談件数は年々増加傾向にあり、引き続き相談窓口の周知広報に努めていく。						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<「事業承継支援ネットワークちば」における支援体制の充実、事業承継支援助成金> ちば中小企業次世代承継推進事業 「事業承継支援ネットワークちば」において関係機関と連携して、事業承継アンケート及び課題等の整理シート等により掘り起こした事業承継支援ニーズを掘り起こし、支援体制の充実を図るとともに、事業承継に取り組む中小企業の計画策定や、M & A 仲介料、後継者育成等の費用の一部を助成する。	3,000千円	3,000千円 15,000千円
		○ - ○1,678千円	/
2	<「事業引継ぎ支援センター」の活用> 千葉商工会議所内に、専門家を配置し、相談・助言から、第三者への事業承継まで、総合的な支援を千葉県単独で行う「支援センター」を設置し、金融機関や中小企業支援機関等との連携により、事業の周知を図るとともに案件の掘り起こしを行う。	予算なし	予算なし
		-	/

2 創業等への意欲的な取組の推進

(1) 起業・創業への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	県制度融資（創業資金）の融資額	目標値			44億円	53億円	57億円
		実績値	42億円	44億円	48億円	57億円	
B	「千葉ふるさと投資」による支援件数	目標値			11件	11件	11件
		実績値	-	5件	12件	11件	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)多くの中小企業者に利用していただくため、より利用しやすい制度の見直しと周知を図っていく。 B)多くの中小企業者に補助制度を活用していただくため、制度の更なる周知等を図っていく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<中小企業振興資金（創業資金の融資）>【再掲】 県内の創業へのチャレンジを一層促進するため、創業資金の利用に伴う信用保証料の一部を補助する。(R2 予算額2,000万円)	190,000,000千円	190,000,000千円
		126,400,000千円	
2	<「千葉ふるさと投資」活用支援事業の実施> クラウドファンディングを活用した資金調達により、地域資源を活用した独創的な技術やアイデアによる新事業を行う中小企業に対して、助成等を行う。	3,700千円	3,234千円
		2,535千円	

2 創業等への意欲的な取組の推進

(2) 企業誘致の推進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	戦略的企業誘致による企業訪問件数 ※過去8年間の年平均実績値	目標値	/	/	1,100件	1,100件	1,100件
		実績値	1,090件	1,270件	1,132件	1,251件	/
B	企業と空き公共施設等を有する市町村とのマッチング 件数	目標値	/	/	100件	100件	100件
		実績値	138件	104件	154件	171件	/
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)目標を達成済み。産業用地が減少していることから、新規開拓のほか、立地済み企業の需要開拓にも注力する必要がある。</p> <p>B)引き続きアンケートの実施や金融機関や中小企業支援機関などと連携することにより、進出可能性のある企業を掘り起こすとともに企業とのマッチングを推進する。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<戦略的企業誘致推進事業（誘致トップセミナーの開催）> 千葉県の立地環境の優位性を生かした戦略的な企業誘致を実施するため、知事トップセールスなどを開催するとともに、企業進出進出支援体制の充実を図る。 ・9月東京開催 11月大阪開催を予定	17,184千円	20,000千円
		14,968千円	/
2	<空き公共施設等を活用した企業進出支援事業> アンケート等により進出可能性のある企業を掘り起こすとともに、フォーラムなどのイベントの開催を通じて企業と進出を希望する企業とのマッチングを推進するほか、市町村による自発的な企業誘致に繋げるため、銀行等の企業情報を有する機関等と市町村とのネットワークを構築する。	16,000千円	6,000千円
		15,620千円	/

2 創業等への意欲的な取組の推進

(3) 成長産業への参入支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	医療機器等の共同開発件数（累計）	目標値			46件	56件	66件
		実績値	23件	36件	46件	56件	
B	ちばメディカルネットワーク登録会員数	目標値			310社	330社	350社
		実績値	283社	298社	317社	345社	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)引続き、ニーズの掘り起こしを行うとともに、ものづくり企業とのマッチングに取り組む。 B)ウェブセミナー等を通じて、新規企業の掘り起こしに務める。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<「ちば健康・医療ものづくり産業支援推進会議」の運営> 県や支援機関による「ちば健康・医療ものづくり産業支援推進会議」を運営して各種事業の企画・検討を行う。 ・ちば健康医療ものづくり産業支援推進会議：3回開催	493千円		580千円	
		42千円			
2	<「ちばメディカルネットワーク」の運営> 健康・医療ものづくり産業に進出している、又は参入意欲を持つ中小企業を対象に、必要な情報を提供するためのネットワークを設置・運営するとともに、メルマガ配信等を行う。 ・ネットワーク登録会員数(R2仮目標)：355社 ・メルマガ配信予定回数：12回	500千円		500千円	
		500千円			
3	<医療機器等開発・交流拠点創出事業> マッチング、製品開発、販路開拓に関する専門人材「メディカルコンシェルジュ」を配置するとともに、企業の製品開発や販路開拓に資するセミナーを実施する。また、国立がん研究センター東病院及び千葉大学医学部附属病院内の「事務局(中核医療研究機関内千葉県事務局)」に医療現場に精通した専門人材「コーディネーター」をそれぞれ1名(計2名)配置し、医療機関との連携を強化する。 ・メディカルコンシェルジュ配置予定数：2名 ・コーディネーター配置予定数：2名 ・共同開発予定件数(年間目標)：10件	28,000千円		37,170千円	
		22,366千円			

2 創業等への意欲的な取組の推進

(4) 経営革新の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	経営革新計画承認件数	目標値	/	/	80件	78件	76件
		実績値	77件	76件	76件	53件	/
B	IoT等の活用に向けたセミナー等の開催件数（累計）	目標値	/	/	8件	25件	39件
		実績値	-	4件	12件	31件	/
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)県の各種事業との連携を図るほか、経済団体などの支援機関と密接に連携する。中小企業のワンストップ相談窓口であるチャレンジ企業支援センターの活用を促進し、専門家派遣制度を活用した適切な助言などにより、経営革新制度による中小企業の経営力の向上を推進する。</p> <p>B)引続き、セミナー等を活用し、IoT等について周知が必要</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><経営革新優秀企業表彰制度、経営革新事例集の作成></p> <p>中小企業が新たな製品の開発や商品の提供など、経営の革新に果敢に挑戦する取組を促進することを目的に、経営革新を通じて他の模範となる実績を達成した優秀な企業を表彰する。</p> <p>経営革新制度の周知・普及を図るため、毎年「経営革新計画承認企業事例集」を作成する。</p>	916千円	935千円
		901千円	/
2	<p><経営革新セミナーの開催>【再掲】</p> <p>商工会・商工会議所等で実施されるセミナー等に職員を派遣し、経営革新制度の概要や承認取得企業の事例紹介等を行う。</p>	263千円	192千円
		チャレンジ企業支援センター事業で実施するセミナーの一部(1,440千円の一部)	/
3	<p><金融機関と連携した普及事業></p> <p>中小企業団体中央会や産業振興センター等の支援機関と連携し普及に努めるとともに、金融機関の法人担当者へも制度の説明や情報交換を行う。</p>	予算なし	予算なし
		-	/

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
4	<支援機関と連携した普及事業> 中小企業団体中央会や産業振興センター等の支援機関と連携し普及に努める。	予算なし	予算なし
		—	
5	<支援機関と連携した支援> 経営環境が大きく変化する時代にあって、新たな取組みに果敢にチャレンジする経営革新計画の承認企業に対しては、承認後1年以上2年未満の企業にフォローアップ調査を実施し、承認計画への取組状況や要望等の把握に努める	予算なし	予算なし
		—	
6	<中小企業経営革新計画フォローアップ事業> 経営環境が大きく変化する時代にあって、新たな取組みに果敢にチャレンジする経営革新計画の承認企業に対しては、承認後1年以上2年未満の企業にフォローアップ調査を実施し、承認計画への取組状況や要望等の把握に努める。	予算なし	予算なし
		—	
7	<指導員研修等への講師派遣> 商工会議所・商工会の経営指導員が中小企業の経営革新計画づくりを適切に指導できるよう、指導員研修等を行う。	予算なし	予算なし
		—	
8	<経営革新等普及促進事業>【再掲】 県内中小企業の経営革新を促進するため、「経営革新優秀企業表彰」「経営革新企業交流会」や、産業振興センターによる経営革新セミナーの開催などにより、制度の普及・啓発に努めている。	916千円	935千円
		901千円	
9	<中小製造業向けスマート化推進事業> AI・IoT等の利活用により中小企業の生産性向上を図るため、千葉県スマート化推進会議の開催を通じた各種事業の企画・検討、セミナー・実習等を通じた普及啓発、相談窓口や専門家派遣等による支援を行う。 ・千葉県スマート化推進会議 : 3回開催 ・IoT・AI等活用セミナー : 1回開催 ・IoT実習講座 : 3か所で開催 ・製造現場等におけるAI・ビッグデータ活用に向けた体験型実習の開催 : 1回開催	15,300千円	15,300千円
		14,681千円	

2 創業等への意欲的な取組の推進

(5) 地域資源を活用した新商品開発などの事業活動の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A) 地域資源を活用した新商品・新サービスの開発等に関する相談件数	目標値			930件	900件	900件
	実績値	865件	992件	842件	897件	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A) これまでの支援の結果開発された商品について、販売機会を提供するほか、新規事業者の掘り起こしを行っていく。						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<千葉のポテンシャルを生かした地域産業活性化事業・地域ブランド・地域産業支援>【再掲】 県内の農林水産物などの地域資源等を活用した新商品の開発や、ブランド化に取り組む地域や中小企業に対し、専門人材による支援を行う。 R2年度は、引き続き訪日外国人向け県産土産品の開発・改良を支援するとともに、開発商品の販路開拓などへの支援も実施する。	34,882千円	35,276千円
		1,282千円	

2 創業等への意欲的な取組の推進

(6) 海外展開への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	海外販路拡大に係る支援件数	目標値	/	/	15件	17件	18件
		実績値	15件	19件	18件	9件	/
B	海外ビジネスセミナーの参加人数	目標値	/	/	1,000人	1,000人	892人
		実績値	960人	750人	894人	1,033人	/
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)引き続き、企業ニーズに対応した適切な支援を行う。 B)関係機関への周知依頼や参加者アンケートの結果を改善につなげる等して参加者増に努める。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額
1	< 海外展開支援事業 (海外展示商談会出展支援、国際展示商談会 (国内) 出展支援) > ○海外見本市等に千葉県ブースを出展 ○国内で開催される国際展示商談会への出展支援	6,410千円	/	14,164千円	/
		2,304千円	/	/	/
2	< 中小企業海外販路開拓支援事業の一部 > 国際取引等に通じた専門家による実務支援の実施	7,588千円	/	7,588千円	/
		6,791千円	/	/	/
3	< 中小企業海外販路拡大支援事業、日本貿易振興機構千葉貿易情報センター支援事業 > 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 千葉貿易情報センターと連携して下記の事業を行う。 ○貿易実務講座や国別、分野別等各種セミナーの開催	26,573千円	/	26,621千円	/
		25,776千円	/	/	/

3 産学官連携・企業間連携の促進と技術開発力の強化

(1) 産学官連携・企業間連携の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	産学官等の連携に関する相談等支援件数 (※H28は25～28年度の年平均実績値)	目標値	/	/	660件	660件	650件
		実績値	760件	638件	643件	594件	/
B	新商品開発等に関する競争資金等の獲得件数 (※H28は25～28年度の年平均実績値)	目標値	/	/	30件	30件	30件
		実績値	54件	12件	23件	28件	/
C	ちば新事業創出ネットワークの参加団体数	目標値	/	/	680件	690件	690件
		実績値	676件	679件	688件	688件	/
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)引き続き産振センターと連携し、相談を受け入れられる体制を整える。 B)引き続き産振センターと連携し、現状以上の競争資金獲得を目指す。 C)入会数を増やすとともに退会数を減らすことを視野に入れ、活動についての充実した取組を検討したい。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<新事業新産業創出支援事業(新事業・新産業創出支援事業)> コーディネーターを5名配置し、企業ニーズ・研究シーズのマッチング、競争的研究開発資金の獲得支援、共同プロジェクトの進捗管理、研究成果の事業化までを一貫支援する。	27,435千円	28,113千円
		26,706千円	/
2	<新事業新産業創出支援事業(新事業・新産業創出支援事業)> 既存の業種や産業分野にとらわれない産学官交流・産産交流の機会を提供するとともに、共同研究や製品開発に向けたコーディネート活動を実施する。	2,014千円	2,014千円
		1,944千円	/

3 産学官連携・企業間連携の促進と技術開発力の強化

(2) 技術力の向上と研究開発型企業の支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	県産業支援技術研究所等による中小企業等への技術相談・支援件数（※H28は25～28年度の年平均実績値）	目標値			1,400件	1,400件	1,450件
		実績値	1,400件	1,442件	1,441件	1,533件	
B	千葉ものづくり認定製品認定件数（累計）	目標値			150件	165件	171件
		実績値	138件	144件	159件	165件	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)引き続き、中小企業等の相談、支援に対応する。 B)新規の認定製品を増やすとともに、認定企業への継続的な販路開拓支援を行っていく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<産業支援技術研究所、東葛テクノプラザにおける各種支援> ○「産業支援技術研究所」及び「東葛テクノプラザ」において、中小企業の技術開発力向上、ベンチャー企業の創出・育成、産学官連携による新産業の創出等を目指し、依頼試験、機器設備使用、技術相談、研究開発、技術情報の提供、人材育成等の支援を行う。	424,145千円	444,481千円
		382,437千円	
2	<「千葉ものづくり認定製品」の認定及び情報発信> 中小企業が製造する優れた製品や独創的な製品を「千葉ものづくり認定製品」として認定する。また、認定製品は県のホームページやリーフレットにより広く紹介する。	1,185千円	1,092千円
		908千円	

3 産学官連携・企業間連携の促進と技術開発力の強化

(3) 知的財産の保護及び活用

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A 知的財産の相談等支援件数	目標値			1,485件	1,500件	-
	実績値	1,528件	1,542件	1,694件	1,672件	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)※R2年度から、総合計画から外した項目ですので、目標値は入れていません						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<新事業・新産業創出支援事業（中小企業知財活用支援事業）※技術調査アドバイス等> 知財に関する専門人材を配置し相談に対応することにより、自社技術の保護・活用や大学等の知財を活用した新製品開発等をを促進する。 また、知財の普及啓発等を図るため、セミナーを開催する。	2,116千円	2,140千円
		1,830千円	
2	<新事業・新産業創出支援事業（中小企業知財活用支援事業）※専門家相談会> 国や千葉県発明協会等と連携し、県内11ヶ所で相談会を実施する。	242千円	252千円
		44千円	

4 経営基盤の強化の促進

(1) 円滑な資金調達への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A 県制度融資の融資枠	目標値			5,700億円	5,700億円	5,700億円
	実績値	5,700億円	5,700億円	5,700億円	5,700億円	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)多くの中小企業者に利用していただくため、より利用しやすい制度の見直しと周知を図っていく。						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	< 中小企業振興資金 > 中小企業の経営基盤の安定に必要な資金を円滑に提供するため、金融機関等と協力して、県内の中小企業に対し、通常の融資より低利で借りられる融資を行う。	190,000,000千円	190,000,000千円
		126,400,000千円	

4 経営基盤の強化の促進

(2) 販路開拓の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	受注取引の紹介斡旋件数	目標値	/	/	765件	777件	600件
		実績値	758件	777件	556件	482件	/
B	販路に関する相談件数	目標値	/	/	240件	240件	240件
		実績値	224件	250件	243件	268件	/
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)台風被害や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた県内中小企業への支援体制を強化し、支援策の情報提供や経営へのアドバイスを行いながら、下請取引の機会を拡大していく。</p> <p>B)引き続き、産振センターと連携し継続的な支援を行っていく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<p><受発注情報等収集提供事業(下請け取引の斡旋等)></p> <p>受発注開拓員及び発注企業開拓員を活用し、県内外の大手企業等に対する発注案件の開拓を行うとともに、本県下請中小企業の景況感や支援ニーズを把握し、それらに合わせた相談指導を行うことにより、下請中小企業の受注取引の紹介斡旋件数の増加を図る。</p>	46,160千円		47,252千円	
		45,620千円		/	
2	<p><専門家による相談等の実施></p> <p>販路開拓に係る相談に応じ、アドバイスや支援策の紹介等を行う。</p>	8,000千円		8,500千円	
		7,936千円		/	

4 経営基盤の強化の促進

(3) 生産性の向上への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A チャレンジ企業支援センターが行う専門家派遣の企業数	目標値	/	/	75社	71社	60社
	実績値	74社	69社	51社	64社	/
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)経営基盤の強化や発展に向けて、経営革新制度は有効な手段であることから、中小企業者、小規模事業者に対して、チャレンジ企業支援センターの「窓口相談」「専門家派遣」を活用して、引き続き経営革新計画の作成支援を進めていくことが課題です。</p> <p>専門家派遣制度を活用した適切な助言などにより、経営革新制度による中小企業の経営力の向上を推進します。</p>						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><専門家の派遣(千葉県産業振興センター:チャレンジ企業支援センター事業(専門家派遣事業))></p> <p>経営の向上を目指す意欲がある中小企業者等に対し、当該企業が抱える様々な問題(経営、技術、人材、情報化等)の解決を図るため、チャレンジ企業支援センターに登録している民間の専門家を派遣し、経営診断・技術助言等を行う。</p>	20,650千円 の一部	20,628千円 の一部
		18,868千円	/
2	<p><専門家の派遣の活用(千葉県産業振興センター:チャレンジ企業支援センター事業(専門家派遣事業))></p> <p>経営の向上を目指す意欲がある中小企業者等に対し、当該企業が抱える様々な問題(経営、技術、人材、情報化等)の解決を図るため、チャレンジ企業支援センターに登録している民間の専門家を派遣し、経営診断・技術助言等を行う。</p>	20,650千円	20,628千円 の一部
		18,868千円	/

4 経営基盤の強化の促進

(4) 再生可能エネルギー等の活用促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
市町村等に対する各種会議やセミナー等での新エネルギー関連施策の情報提供回数	目標値			13回	10回	10回
	実績値	13回	10回	10回	12回	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)引き続き、庁内関係課と連携しつつ、市町村等に対して効果的な情報提供を実施していく。						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<相談対応による支援> 民間事業者の太陽光発電や風力発電等の導入に係るワンストップ窓口での相談対応や情報提供を行う。	予算なし	予算なし
		-	
2	<地域主導型新エネルギー活用プロジェクト支援事業> 企業、商工団体等が市町村と連携して行う、再生可能エネルギー等の活用に向けた取組に対する支援を行う。	2,000千円	2,000千円
		2,000千円	

4 経営基盤の強化の促進

(5) 事業承継と事業再生への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	千葉県事業引継ぎ支援センターによる相談件数【再掲】	目標値	/	/	200件	236件	294件
		実績値	191件	282件	307件	319件	/
B	事業承継ネットワーク構築事業におけるアンケート件数【再掲】	目標値	/	/	1,700件	1,700件	5,534件
		実績値	-	4,827件	3,543件	5805件	/
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)相談件数は年々増加傾向にあり、引き続き相談窓口の周知広報に努めていく。 B)金融機関の協力により、大幅な実施件数増加を達成した。 今後も引き続き商工団体、金融機関、千葉県信用保証協会などと連携の上実施していく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<「事業引継ぎ支援相談センター」の活用>【再掲】 千葉商工会議所内に、専門家を配置し、相談・助言から、第三者への事業承継まで、総合的な支援を千葉県単独で行う「支援センター」を設置し、金融機関や中小企業支援機関等との連携により、事業の周知を図るとともに案件の掘り起こしを行う。	予算なし	予算なし
		—	/
2	<「事業承継支援ネットワークちば」における支援体制の充実、事業承継支援助成金>【再掲】 ちば中小企業次世代承継推進事業 [事業承継支援ネットワークちば]において関係機関と連携して、事業承継アンケート及び課題等の整理シート等により掘り起こした事業承継支援ニーズを掘り起こし、支援体制の充実を図るとともに、事業承継に取り組む中小企業の計画策定や、M&A仲介料、後継者育成等の費用の一部を助成する。	3,000千円	3,000千円 15,000千円
		○ — ○1,678千円	/

4 経営基盤の強化の促進

(6) リスクマネジメントへの支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	BCPセミナー受講者数	目標値			26人	34人	46人
		実績値	28人	24人	44人	61人	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)企業の事業継続計画(BCP)策定支援や、自治体・県民・企業が連携した防災訓練の実施など、事業者による防災対策を推進していきます。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<セミナーの開催(千葉県産業振興センター：チャレンジ企業支援センター事業)> 大規模地震や風水害、大震災等の緊急事態における事業継続、早期復旧のための取組であるBCP(事業継続計画)及び経営革新制度(中小企業新事業活動促進法)の理解と取組の促進を図るセミナーを開催する。	263千円		192千円	
		チャレンジ企業支援センター事業で実施するセミナーの一部 (1,440千円の一部)			

5 人材の確保及び育成の支援

(1) 中小企業の人材確保への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	ジョブカフェちばを採用活動に利用した企業数	目標値			1,700社	1,390社	1,304社
		実績値	1,471社	1,316社	1,382社	1,215社	
B	プロフェッショナル人材の県内中小企業における正規雇用件数	目標値			15人	15人	65件
		実績値	18人	31人	68人	97人	
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)令和2年1月末時点では、目標企業数は概ね達成できていたが、2月以降新型コロナウイルス感染症の影響で、合同説明会等が中止となり、採用活動に利用した企業数が昨年度と比較して減少した。引き続き、企業訪問を通じて新規企業を開拓すること等により、ジョブカフェちばを採用活動に利用する企業の増加を図る。</p> <p>B)多くの中小企業に、副業・兼業も含めた多様な人材を活用して経営改善を図ってもらえるよう、引き続き事業周知に努めていく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><ジョブカフェちば事業></p> <p>○若者と地元中小企業との雇用のミスマッチを解消し、中小企業の採用活動を支援するため、ジョブカフェちばにおいて採用ミスマッチ解消事業等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年求職者との交流イベント ・求人企業の開拓 ・企業向け採用、定着支援セミナー ・WEBによる模擬面接 	140,415千円	141,298千円
		138,390千円	
2	<p><プロフェッショナル人材戦略拠点事業></p> <p>○潜在成長力のある地域企業の経営者に、新商品開発や新販路開拓などの「攻めの経営」への転身を促し、その成長戦略の実現のために必要となるプロフェッショナル人材の採用や副業・兼業を含めた多様な形態での人材マッチングを支援する「プロフェッショナル人材戦略拠点」を運営する。</p>	42,254千円	41,664千円
		37,931千円	

5 人材の確保及び育成の支援

(2) 女性活躍など多様な人材活用の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A 女性・中高年齢者の就労支援施設におけるセミナー及び交流イベントの開催件数	目標値	/	/	40件	40件	40件
	実績値	40件	45件	55件	55件	/
B 女性の再就職支援プログラム参加者数	目標値	/	/	50人	50人	100件
	実績値	-	69人	167人	158人	/
C 障害者雇用率達成企業の割合	目標値	/	/	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
	実績値	51.50%	54.50%	49.40%	51.60%	/

(課題と今後の対応) 【R元→R2】

A)引き続き求職者（主に中高年齢者や子育て中の女性）に対する再就職及び定着支援を実施し、就業支援の充実を図る必要がある。

B)引き続き主に正社員での再就職を希望する女性求職者を対象に、座学研修と職場見学など個人のニーズや能力に応じた再就職支援プログラムを実施し、女性の再就職を支援する必要がある。

C)目標を達成しているが、令和2年度末までに法定雇用率が0.1ポイント引上げられるため、対象事業所が拡大されることから、今後も関係機関と連携しながら企業の障害者雇用促進を支援していく。

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<千葉県ジョブサポートセンター事業> ○求職者（主に中高年齢者や子育て中の女性）に対する再就職及び定着支援を実施し、就業支援の充実を図る。 ・女性・中高年齢者の就労支援施設におけるセミナー及び交流イベントの開催	59,232千円	57,924千円
		59,224千円	/
2	<千葉県ジョブサポートセンター事業（女性チャレンジ応援事業）> ○女性チャレンジ応援事業として、主に正社員での再就職を希望する女性求職者を対象に、個人のニーズや能力に応じた再就職支援プログラムを実施し、女性の再就職を支援する。	上記59,232千円 に含む	上記57,924千円 に含む
		-	/

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
3	<障害者就業支援キャリアセンター事業> ○特例子会社設置検討企業や法定雇用率未達成企業など、障害者雇用に関する多様な企業ニーズに対応し、相談・訪問による支援を行うほか、障害のある人を対象とした職業準備訓練や就労に関する相談支援を行う。	33,670千円	31,713千円
		32,834千円	
4	<企業支援員（障害者雇用アドバイザー）事業> ○企業支援員を県内16の障害者就業・生活支援センターに各1名配置し、障害者雇用企業の開拓や、企業訪問による雇用管理上のアドバイス等を行う。	50,014千円	50,285千円
		43,584千円	
5	<障害者雇用促進のための「意識改革」事業> ○企業向けに障害者就労現場の見学相談会を13回以上開催する。また、障害者向けに、障害者雇用企業及び働いている障害者による体験談の発表や意見交換等の交流会を3回以上開催する。	2,938千円	3,317千円
		2,911千円	
	<障害者雇用促進のための「意識改革」事業> ○企業向けに障害者雇用に関する支援制度や雇用事例等を紹介するハンドブックを作成し、未達成企業等へ配布するほか、企業支援員が圏域内の障害者雇用企業を開拓する機会を活用し配布する。	203千円	804千円
		203千円	
6	<障害者雇用サポート事業> ○障害のある人の就労を支援するため、基礎訓練と職場実習を組み合わせた研修を実施するとともに、障害者就労アドバイザーが、雇用を検討している企業に出向き、職場実習受入れのための業務選定や、社内勉強会の開催など職場環境整備の支援を行う。 [研修生60名募集]	35,648千円	35,987千円
		26,922千円	

5 人材の確保及び育成の支援

(3) 中小企業のニーズに応じた人材育成への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	県立高等技術専門学校における在職者訓練（ちば企業人スキルアップセミナー）事業の受講率	目標値	/	/	80.0%	80.0%	80%
		実績値	75.4%	77.7%	72.4%	62.5%	/
B	離職者再就職訓練事業における就職率	目標値	/	/	75.0%	75.0%	75%
		実績値	77.9%	77.9%	R元.8月判明予定	72.3%(暫定値)	/
<p>（課題と今後の対応）【R元→R2】</p> <p>A)受講者数は減少傾向です。パンフレットを県内中小企業や関係機関等への配布するとともに、ホームページ掲載は継続した上で広報方法を見直します。併せてニーズのあるコースを増やす等の対応を取り、受講者増加を図る。</p> <p>B)訓練ニーズを把握し就職に有効な訓練コースの設定や、ハローワーク等における就職支援の強化が課題。労働局等関係機関と連携し実績が低調なコースの検証改善の実施や、就職活動日を設定し訓練期間中からハローワークでの就職支援の徹底を図る。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<ちば企業人スキルアップセミナー事業> 中小企業等で働いている方を対象に、更なる知識や技能のスキルアップと資格取得をサポートするため、在職者訓練として短期間のセミナーを実施する。	6,301千円		6,290千円	
		3,518千円		/	/
2	<離職者等再就職訓練事業> R2年度計画としては225コースを実施予定である。 国家資格の取得等を目指す長期高度人材育成コースとして、介護福祉士6コース、保育士6コース、美容師2コースを設定した。	1,433,520千円		1,399,172千円	
		718,391千円		/	/
	<離職者等再就職訓練事業> 観光分野等の仕上り像の高い4～6か月の訓練コースの設定を予定する。	1,433,520千円		1,399,172千円	
		718,391千円		/	/

5 人材の確保及び育成の支援

(4) 働き方改革など働きやすい環境の整備

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	「働き方改革」アドバイザーを活用して働き方改革に取り組んだ企業数	目標値	/	/	20社	20社	25社
		実績値	-	25社	22社	23社	/
B	「社員いきいき！元気な会社」宣言企業登録事業所数	目標値	/	/	780社	872社	927社
		実績値	652社	760社	822社	889社	/
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)引き続き、働き方の見直しに関心のある企業等を対象に働き方改革アドバイザーの派遣を行う。 B)引き続き、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を募集し、県内企業の自主的な取組を促進していく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<「働き方改革」推進事業> ○働き方の見直しに関心のある企業を対象にセミナーを開催し意識の醸成を図るとともに、個別に相談を受け、助成金制度の活用等を助言する働き方改革アドバイザーを派遣する。 ・アドバイザーの企業への派遣 ・セミナー及びシンポジウムの開催 ・テレワークの専門家派遣	17,000千円		20,000千円	
		15,952千円		/	/

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(1) 地域と連携した商店街活性化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	地域商業活性化コーディネーター派遣回数	目標値	/	/	20回	20回	25回
		実績値	21回	11回	30回	39回	/
B	商店街若手リーダーの養成数（累計）	目標値	/	/	341人	357人	372人
		実績値	310人	327人	343人	358人	/
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)新しい生活様式などの外部環境の変化に対応しつつ、制度の周知を図り、活用を促進する。 B)引き続き本事業の周知に努め、商店街の若手リーダーの養成を図ってゆく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<千葉県地域商業活性化事業（地域商業活性化コーディネーター派遣事業）> コーディネーター派遣目標を25回として実施する。	1,760千円		3,500千円	
		1,412千円		/	
2	<商店街若手リーダー養成事業（ふさの国商い未来塾）> 修了者の目標数を14人として実施する。	1,477千円		1,477千円	
		1,450千円		/	
3	<商店街若手リーダー養成事業（ふさの国商い倶楽部）> 累計修了者数を372人とし、交流や情報交換を推進する。	223千円		223千円	
		140千円		/	

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(2) 中小企業と地域住民・大学等の教育機関との交流・連携の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H28	H29	H30	R元	R2
A 職場体験等情報提供企業数	目標値			100社	120社	120社
	実績値	-	-	115社	116社	
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)職場体験等の受入が可能な県内企業の情報を掲載したWebサイトを周知する。企業情報を充実させる。						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<学校教育と連携した中小企業・小規模企業魅力発信事業> 中学・高校生の職場体験などを通じて中小企業・小規模企業の魅力を発信するため、職場体験等の受入れ企業の情報を掲載したWebサイトについて幅広く周知するとともに、掲載企業の新規掘り起こしを行う。	予算なし	予算なし
		-	

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(3) 農商工連携等による地域産業の振興

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	地域資源を活用した新商品・新サービスの開発等に関する相談件数【再掲】	目標値	/	/	930件	900件	900件
		実績値	865件	992件	842件	897件	/
B	ちば農商工連携事業支援基金による助成件数（累計）	目標値	/	/	93件	100件	101件
		実績値	71件	85件	96件	100件	/
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)これまでの支援の結果開発された商品について、販売機会を提供するほか、新規事業者の掘り起こしを行っていく。</p> <p>B)新基金になり、これまでどおりの助成件数が望めないため、有望な事業に効果的に支援を行う。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><千葉のポテンシャルを活かした地域産業活性化事業（地域ブランド・地域産業支援）></p> <p>県内の農林水産物などの地域資源等を活用した新商品の開発や、ブランド化に取り組む地域や中小企業に対し、専門人材による支援を行う。</p> <p>R2年度は、引き続き訪日外国人向け県産土産品の開発・改良を支援するとともに、開発商品の販路開拓などへの支援も実施する。</p>	34,882千円	35,276千円
		34,496千円	/
2	<p><ちば農商工連携事業支援基金事業の活用></p> <p>令和2年度は、新商品・新サービス開発を支援する。</p>	-	-
		-	/
3	<p><専門家派遣の活用（ハンズオン支援）></p>	-	-
		-	/

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(4) おもてなし力の向上による観光振興を通じた地域の活性化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修受講者数	目標値			329人	342人	-
		実績値	295人	405人	194人	356人	
B	オール千葉おもてなし推進事業におけるイベント参加者数	目標値			500人	1,800人	750人
		実績値	-	270人	1,578人	8509人	
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックの本番を迎えるにあたり、事業で培ったおもてなし力を発揮する年度と位置づけ、研修事業を休止し、今後の人材育成事業について検討する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会が1年延期になってしまったところ。事業のあり方について、“新しい生活様式”にも配慮のうえ、改めて検討していく。</p> <p>B)東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、「オール千葉」でおもてなしの機運を高めていくことを目的として、各種PR活動を行ってきたところだが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大会が1年延期となった。令和2年度においては、各地で行われるコロナからの復興に資する機会に参画し、おもてなし機運を共に醸成する等、工夫しながら事業を実施していく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<観光人材の育成に関する検討> ・観光人材の育成に関し、あり方やその方法などについて、検討する。	10,000千円	予算なし
		9,996千円	
2	<オール千葉おもてなし推進事業> ・「オール千葉」でのおもてなし機運を加速させるための下記取組を実施する。(なお、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、参加するイベントを決定する予定。) ・おもてなしイベントの開催(年2回) ・振り返りシンポジウムの開催 ・オール千葉おもてなし隊PR活動(年6回) ・オール千葉おもてなしキャンペーン(年1回)	14,352千円	15,502千円
		14,260千円	

7 相談支援体制と情報発信の充実、官公需施策の推進

(1) 関係機関の連携による相談支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	商工会・商工会議所における相談件数【再掲】	目標値	/	/	115,200件	110,000件	110,000件
		実績値	115,265件	113,864件	110,646件	115,572件	/
B	チャレンジ企業支援センターにおける相談件数【再掲】	目標値	/	/	2,400件	2,500件	2,900件
		実績値	2,352件	2,916件	3,489件	3,477件	/
C	よろず支援拠点における相談件数	目標値	/	/	6,000件	6,000件	6,800件
		実績値	4,894件	6,521件	6,786件	7,282件	/

(課題と今後の対応) 【R元→R2】

A)小規模事業者支援法の改正により、商工会・商工会議所と市町村及び都道府県との連携強化など、小規模事業者に寄り添った伴走型支援が求められている。

B)経営基盤の強化や発展に向けて、経営革新制度は有効な手段であることから、中小企業者、小規模事業者に対して、チャレンジ企業支援センターの「窓口相談」「専門家派遣」を活用して、引き続き経営革新計画の作成支援を進めていくことが課題です。

経営力の向上を推進するため、経済団体などの支援機関と密接に連携を図ることにより、中小企業のワンストップ相談窓口であるチャレンジ企業支援センターの活用を促進します。

C)チャレンジ企業支援センター等との連携をより一層推進する。

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<小規模事業経営支援事業費等補助金>【再掲】 ○商工会、商工会議所において、「経営発達支援計画」を策定し、従来の税務、経理などの相談に加え、技術の向上、新たな事業開拓等に係る事業計画の策定・実施を企業に寄り添って支援する伴走型支援を行う。 なお、令和2年度は「経営発達支援計画」等の策定支援として、策定にかかる会議費・旅費等に対し補助を行う。	2,274,219千円	2,283,617千円 うち計画策定費として、7,320千円
		2,182,258千円	/
2	<チャレンジ企業支援センター事業>【再掲】 中小企業支援法に基づき、(公財)千葉県産業振興センターが実施する、県内中小企業者が抱える様々な経営課題(経営・金融・技術・IT相談等)の解決を「ワンストップ」で支援するための、各種相談事業や専門家派遣事業及び各種セミナーの開催事業等に対し補助する。	334,662千円	336,828千円
		330,212千円	/
3	<よろず支援拠点による総合支援> 中小企業者・小規模事業者の複雑・多様化する経営課題に対して、総合的・先進的アドバイスを行い、売上拡大や経営改善を支援する。	予算なし	予算なし
		—	/

7 相談支援体制と情報発信の充実、官公需施策の推進

(2) 支援情報・中小企業の魅力等の情報発信の強化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	職場体験等情報提供企業数【再掲】	目標値	/	/	100社	120社	120社
		実績値	-	-	115社	116社	/
B	地域勉強会・円卓会議の開催件数 (※現状は、平成25年度から当該年度までの年平均実績値)	目標値	/	/	20回	17回	13件
		実績値	17回	19回	14回	13回	/
(課題と今後の対応) 【R元→R2】 A)職場体験等の受入が可能な県内企業の情報を掲載したWebサイトを周知する。企業情報を充実させる。 B)新型コロナの県内の感染状況を踏まえながら、開催をしていく							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度		R2年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額
		決算額		決算額	
1	<学校教育と連携した中小企業・小規模企業魅力発信事業>【再掲】 中学・高校生の職場体験などを通じて中小企業・小規模企業の魅力を発信するため、職場体験等の受入れ企業の情報を掲載したサイトについて幅広く周知するとともに、掲載企業の新規掘り起こしを行う。	予算なし	決算なし	予算なし	決算なし
		-	/	/	/

7 相談支援体制と情報発信の充実、官公需施策の推進

(3) 官公需施策の推進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H28	H29	H30	R元	R2
A	県官公需契約金額に占める中小企業の割合	目標値			75.5%	76.2%	77.0%
		実績値	74.8%	76.2%	77.8%	77.1%	
B	官公需適格組合との契約件数	目標値			54件	59件	59件
		実績値	50件	71件	56件	52件	
<p>(課題と今後の対応) 【R元→R2】</p> <p>A)令和元年度は目標を達成したが、今後も更に官公需契約金額に占める中小企業の割合を高めるため、関係機関へ周知を図る。</p> <p>B)令和元年度は目標を達成しなかったため、関係機関への周知を徹底する。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R2年度】	R元年度	R2年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><中小企業者の受注機会増加への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> 入札参加者に係る「地域要件」を適切に設定するとともに、県内中小企業の適切な評価と積極的な活用に努め、地域における事業者の受注機会の増大を図る。 技術力の正当な評価や、競争入札における同一等級格付け区分内の者による競争の確保等による中小企業者の受注機会の増大を図る。 県関係課、官公需関係出先機関などに「県の契約の方針」や官公需施策の概要、官公需適格組合の活用促進について普及啓発を行う。特に市町村の発注担当者に対して、各種会議などの機会を通じ、官公需施策の必要性等について普及啓発を行う。 	予算なし	予算なし
		-	